

地域福祉がわかるすごろくゲーム 「ほっとかへん。」を作成

河内長野市では、令和3年3月に策定した「河内長野市第4次地域福祉計画 河内長野市社会福祉協議会第3次地域福祉活動計画（かわちながの つながり・支えあい推進プラン）」を広く普及させるため、「地域福祉がわかるすごろくゲーム ほっとかへん。」を作成しました。これは、小学校4～6年生を対象に楽しみながら福祉に興味を持ってもらうためのものです。

（配布方法）

- ・河内長野市内すべての市立小学校4～6年生に6～7月に配布予定
- ・河内長野市高齢福祉課および社会福祉協議会の窓口にて希望者に配布

（特徴）

●子どもたちに身近な福祉を伝える

すごろくには、「道に迷ってしまった高齢者」「目の不自由な方」「泣いている赤ちゃん」などが登場し、ゴールまでに様々なイベントが起こるため「福祉」が学べるようになっていきます。

●ゲーム感覚で学び、掘り下げる

すごろくのあとは、ゲーム中の印象深かったことや、個々の児童にとっての福祉の考察など、「ふりかえり」を重視しています。グループや教室で内容を共有すれば、短時間でもお互いの考えを知ることができるため、深い学びにつながることを期待しています。

●寛容さと思いやりの心を育て地域福祉活動の担い手に

一人も取り残さない地域共生社会の実現は、福祉の専門職だけでなし得ることは難しく、市民ひとりひとりの力が必要です。このすごろくをきっかけに、福祉に関心を寄せる児童が一人でも増え、地域福祉活動の担い手となることを願っています。

●利用イメージ



コマを切り離して使用します（ミシン目入り）



サイコロを振った目によって行動が変化します

問い合わせ 河内長野市 高齢福祉課 (0721-53-1111)